

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾若狭野			
○保護者評価実施期間	2026年 6月 3日		～	2026年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数)	34名
○従業者評価実施期間	2025年 6月 3日		～	2025年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様からいただいたご意見・内容に対する迅速な対応を心がけている。	職員間での話し合いや情報共有を徹底しており、それが迅速な対応へとつなげることができる。	より最新の情報を得るために、事業所以外でのご様子なども聞き取りできるようにする。
2	日々の支援の中に専門的な視点を設けた考察・実践をおこなっている。	事業所には基準の人員に加えて、専門職や加配の職員も配置している為、都度支援への工夫が可能である。	引き続き、職員間での情報共有を徹底し、必要に応じて支援の見直し・更新を図る。
3	事業所ならではの取り組みが数多くあり、楽しいと思ってもらえる工夫をしている。	敷地内に設置している畑での野菜栽培や、支援中の掃除の時間、広い駐車スペースを使用した運動等の実施もしている。	新たな活動プログラムを実施していく中で、さらに多くの活動内容の展開と工夫を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他の関係機関との連携等の機会は少ない。	R7.12月より新たにスタートした事業所ということもあり、事業所について知ってくださっている方が比較的少ないということが直結しているように感じる。	事業所の支援や活動内容について、ブログ等の様々なツールで発信していくとともに、つながりを広げていく。
2	保護者会や説明会等の実施および相談できるような機会は少ない。	12月のオープン以降、保護者会はまだ実施できていない。	今後は、積極的な相談機会の設置を進めるとともに、日々の運営の中での工夫も取り入れていく。
3	活動プログラムや支援内容への工夫はもう少し取り入れる必要がある。	活動内容が固定化しそうになることもある。	SNS等を活用して更に多くの情報を取り入れたり、他事業所の活動内容を参考にしたりしながら、活動内容の幅を広げていく。